

No.56 関係機関と連携した安全教育

- 管内 後志管内
- 分類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他（普通救命、薬物乱用防止等）
- 教育課程 教科（保健体育科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 各教育活動につながりをもたせた体系的な安全教育の実施
- 関係機関と連携したより専門的な見地からの指導の実施
- 安全意識の向上を図り、緊急事態における適切な対応力を育む指導の実施

取組の実際

ねらい

- 普通救命講習を受講することにより、正しい知識をもつとともに、緊急事態に対処することができる能力を育成する。
- 薬物等の乱用から起こる事件等を踏まえ、生徒への安全意識の向上や対策の徹底を図る。

内容

1 地方消防組合消防署と連携した普通救命講習

- 事前指導
 - ・保健の授業において、普通救命の知識や大切さを認識する。
 - ・AEDを使うことの重要性や、設置場所等を各自で調べる。
- 普通救命講習
 - ・学年ごとに実施時間を変え、全生徒がAEDを使った実習を行う。
 - ・実際に体験したことで実感したポイントを交流し、AEDの使用の仕方を確認する。
- 事後指導
 - ・救命活動等について消防署員からの話を聴き、振り返る。
 - ・救護を必要とする突発的な出来事が起きた場合を想定して、自分たちの行動の在り方等をグループで話し合い交流する。



【普通救命講習での心臓マッサージ体験】

2 総合振興局保健環境部と連携した薬物乱用防止教室

- 事前指導
 - ・日常生活に潜む薬物乱用の危険性について、正しい認識をもつ。
 - ・これまでの取組から学んだ、日常から相手意識をもって生活することや、不測の事態が起こった場合の対応について確認する。
- 薬物乱用防止教室
 - ・専門の見地からの講演を聴き、日常生活に潜む薬物乱用の危険性について、より深く理解する。
 - ・講演後に、グループ協議を行い、考えを深め合う。
- 事後指導
 - ・一人一人が周囲にある危険なことに巻き込まれないよう意識することや、相手のことを気に掛けるなど心配りが大切であることを確認する。
 - ・それぞれの取組を通して感じた「生活安全」について、各自で感想をまとめる。



【薬物乱用防止教室での感想交流】

成果と課題

- それぞれの取組を「生活安全」という視点でつながりをもたせて実施することで、個人の考え方から集団としての在り方まで、より広い視野で安全教育をとらえることができた。
- つながりをもたせて実施できる取組が他にないか検討するとともに、生徒がより一層主体的に活動できるように工夫する必要がある。